

令和5年度 第2回 日進市地球温暖化対策地域協議会 議事録

- 日 時 令和6年3月6日(水)
午後1時30分から3時まで
- 会 場 市役所本庁舎 4階第2会議室
- 出席委員 成田暢彦(会長)、桑山和文(副会長)、加藤正博(委員)、倉知英治(委員)、菅田亘(委員)、今村慎吾(委員)、原真理子(委員)、小林成昌(委員)、刑部雄幸(委員)、小山邦夫(委員)、石黒悠子(委員)
- 欠席委員 塚本浩文(委員)
- 事務局 杉田武史(生活安全部長)、近藤伸治(環境課長)、河村秀根(環境課課長補佐)、祖父江篤人(環境政策係係長)、宮田大(環境政策係主査)
- 傍聴者 なし
- 内 容

開会

□出席委員の確認12名中11名の出席。日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第4条第2項の成立要件を満たしていることを確認。

議題

- (1) 令和5年度 事業報告
- (2) 令和6年度 事業計画(案)
- (3) 各委員の取組について

会 長：それでは、議題(1)「令和5年度 事業報告」及び議題(2)「令和6年度 事業計画(案)」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局より説明)

会 長：それでは、議題(1)、議題(2)について何かご質問、ご意見はありませんか。

委 員：プラスチック回収について、ポータブルトイレも一括回収の対象となるのでしょうか。

事務局：全体がプラスチックのみでできているものであれば対象です。

委 員：プラスチックの大きさの制限はあるのでしょうか。

事務局：一定の制限はありますが資源回収袋に入るものであれば対象となります。

委 員：エコカー補助についてですが、他市と比べて補助件数などどのようなのでしょうか。

事務局：補助単価については、県内他市を調査の上、同等程度となるよう設定していますが、予算額については、全体のバランスのなかで設定しているものです。

委 員：Jクレジットについてですが、創出したものは売却していく方針なのでしょうか。

事務局：今回創出したものについては売却をしております。そこで得た収入については、今後の

温暖化対策の補助事業の財源などにしていきたいと考えております。

委員：地産地消の取組についてですが、道の駅が拠点となるのでしょうか。

事務局：地元の農産物や加工品など、産地直送品を販売する予定と聞いています。

委員：温暖化対策補助ですが令和5年度の予算に対する執行状況はどのようでしょうか。

事務局：予算額1,000万円のうち、現状830万円が執行済ですが、今後全て執行する見込みです。

会長：それでは、他に質問がないようなので、次の議題に入ります。議題（3）「各委員の令和5年度の取組の実績報告及び令和6年度の取組について」事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

会長：それでは、各委員の取組について順番に要点や特に伝えたいこと等をお話いただきたいと思います。

委員：今後家電を買い替える際には、カーボンフットプリントの表示や省エネマークを参考にしたいと考えています。自動車については将来的に電気自動車も検討したいですが、マンション住まいのため充電設備がどうなるのかという懸念があります。

委員：会社の執務室の空調設定について、1日に3回、自動で切れる設定にしています。また、昨年7月に組織の縮小により要員が減りました。それに伴い、執務室が2フロアあったものを1フロアにしました。これだけが要因ではないですが、昨年と比較して現時点で電気使用量が15パーセント削減されました。

委員：高効率のガス空調やLED等の省エネ設備を導入しています。建物の省エネについては、事業所ごとのエネルギー使用量を社内で毎月発信して、社員が確認し、各自省エネ行動に努めています。また、ペーパーレスの推進として電子決裁を取り入れ、廃棄物の削減に取り組んでいます。

委員：再エネとして太陽光発電設備を導入している店舗も一部ありますが、日進支店は導入できていないので将来的に検討したいです。また、ペーパーレスの推進としてペーパーレス会議システムの導入や各種帳票類の電子化に取り組んでいます。

委員：EVバスの実車運行を開始しました。また、くるりんばすの自動運転の実証実験について2台目を導入し運行しています。今後、再エネとして太陽光発電設備の導入を検討する予定です。まずは営業所の屋上の強度確認を行っていきます。

委員：計画的に事務棟にLEDを導入しています。また、最も電力使用量が多い機器であるコンプレッサーの台数制御を行い効率化していますし、工場の空調について空気循環システムを導入し、省エネに取り組んでいます。

委員：太陽光発電設備を社内駐車場の屋上に設置しました。今後は社用車の入れ替えの際に、電気自動車の導入を進めていきます。また、フリーアドレスを導入し、ペーパーレスを推進していく予定です。

委員：更新計画に基づき、古い機器を順次更新しています。また、空調を効率化するために、大型のものを小型化、スポット化しています。さらに、今後試験的に工場での排熱を空調に利用する技術を導入することを検討しています。

- 委員：廃棄物の削減として、市と協力して自治会でフードドライブとパントリーの取組を行いました。また、同様に市と協力してアップサイクルの啓蒙活動を行いました。今後も継続したいです。市民の方の意識改革もできればと思っています。
- 委員：暖房機器と給湯器を省エネ性能の高いものに切り替えました。また、現在市民団体の緑の保全活動を行っていますがこれからも継続して行っていきます。今後は再エネ由来の電力の選択について検討したいです。
- 委員：プラスチックごみ削減の取組として、ヘチマプロジェクトと題して、緑のカーテン用の苗の配付や料理教室、タワシ作り講座を行いました。また、地産地消の取組として農育体験の講座を行いました。農業に興味を持つ若い世代も増えてきています。今後もこれらの活動を継続して推進していきたいです。
- 会長：ただいま各委員から報告があったことについて、他の委員の取組で詳しく聞いてみたいことなど、他の委員に対して、何かご質問、ご意見はありませんか。
- 委員：PPAの取組を検討している事業者さんがいらっしゃいますが、今後そのような活動が増えてくると考えています。例えば、名鉄バスさんは、今後自社で太陽光パネルの設置を検討するとのことですが、コスト面で外から買ってきた方がよいのか、自社で創った方がよいのかという判断もありますし、荒川工業さんは太陽光発電量の97パーセントを自社で消費している。企業によってさまざまな方法があることが分かりました。
- 委員：東邦ガスさんの水素の取組ですが、水素は石油由来でしょうか。
- 委員：そうです。
- 委員：水素もその由来では、二酸化炭素を排出する可能性がありますので、それらについても今後議論が進んでくるものなのかと思います。
- 委員：農協さんにお伺いしたいのですが、小規模での農業というのはできないものでしょうか。できれば農業人口がもっと増えるのかと思います。機器の貸し出し制度等はないのでしょうか。
- 委員：3年くらい前から組合員に対して農機具の貸し出しはやっています。ただ、一般の方への貸し出しは現状しておりません。
- 委員：農機具の使い方のレクチャーなどがあると、農業振興に繋がると思います。
- 委員：特殊な機具についてはレクチャーも一定程度しています。
- 委員：自治会でのフードドライブなどの取組について、どの程度の効果があるかについて調べられたことはありますか。
- 委員：効果までを知る術はありませんが、行動することによって、他の方も活動されるようになったという感触は得ており、関心を持つ人が増えているのでは感じています。
- 会長：それでは、議題（3）について終了します。その他について、何かあれば事務局よりお願いします。

(事務局より説明)

- 会長：みなさまのご協力により、滞りなく議事を進めることができました。ありがとうございます。それでは、令和5年度第2回地球温暖化対策地域協議会を閉会いたします。

(3時)